

大使からの活動報告<2014年11月中旬～下旬>

2014年11月30日
在グアテマラ日本大使館
大使 川原 英一

◆トヨタ販売会社<コフィーニョ・スタール社>本社訪問

11月18日、当国でトヨタ車を販売しているコフィーニョ・スタール社を訪問しました。サラビア同社長(左写真)と懇談後、トヨタ車の展示場とサービスセンターを視察しました。同社は1964年からトヨタのディーラーとして営業をしていますが、1963年に当国のビジネスマン達がチャーター飛行機で訪日しており、その後、サラビア会長の父上がトヨタとの販売契約を結んだとの話を伺いました。同社は、その後、ヨコハマ・タイヤやスバル自動車の販売ディーラーとしても活躍中です。当国新車販売の中では、トヨタが一番多く販売されていますが、トヨタ車の中で最も販売が多いのは、ピックアップのハイラックスです。本社一階にあるトヨタ・サービスセンターも視察しました。同時に多くの顧客に対応できるよう広い受付コーナーがあり、顧客



に満足できるサービスを重視し、持ち込まれた車の修理・サービスは、1時間以内で終わることを心がけているとのこと、このサービスが終了するまで、顧客は、ネイルサロン、靴磨き、インターネット、軽食が無料で利用できる待合室がありました。



また、修理・サービス工程の管理は、常時、受付近くの画像でモニタリングされていました。トヨタ車の品質・耐久性が優れていることと、当国での顧客サービス網が充実していることから、トヨタ車の中古車のバリエーションも極めて高く、顧客の満足度が高いことを伺いました。

◎折紙協会会長と墨絵画家との懇談



当国折紙協会会長のサラビアさん(左下写真右から二人目)と墨絵画家のラケルさん(同 右端の方)を公邸にお招きしました。サラビアさんは、数学者です。折紙を、小学校の教師をしていたお母さんから教えてもらい、その後、自分で折紙の本を買って独学で習ったと伺いました。現在、全国の学校から公演の依頼があり、折紙の楽しさと幾何学を学生達に同時に教えていますと伺いました。



国立サン・カルロス大学の学生達と折紙で作った多面体(右写真)を御持参頂きましたが、その多様な形態には、驚きました。

また、墨絵画家のラケルさんは、日本で水墨画を学んだ当国の先生の奥様から手ほどきを受けて、墨絵を習ったこと、墨絵のタッチで水彩画を描くことが好きなこと、墨絵には、和紙が必要であるが、これまで当国では手に入りにくいので、和紙ではなく、手に入る色紙を使って描いていること、今年10月初めに秋篠宮妃殿下が、市内にある全国こども癌病院を訪問され、患者の子供達が絵を描いているところをご覧になったが、ラケルさんがこの子供達に絵を指導したと伺いました。ラケルさんは、がん患者である子供達の絵の指導を定期的に行っていますが、驚くほど素晴らしい能力の子供がいること、そうした子供達の優れた作品を使用したカレンダーを作成・販売し、同病院へ寄付をしています、とのお話を伺いましたので、拝見したカレンダーを購入させて頂きました。お二人から、折紙、墨絵のワークショップなどの機会があれば、どこにでも行きますとの大変に好意的な申し出がありました。

◆外交団夫人会(Damas)主催のチャリティー・ガラナイト



21 日夜、外交団夫人会Damas(会長:独大使夫人)主催のチャリティー活動が市内ホテルでありました。各国大使館・各国コミュニティーの方々が 340 名



ほど参加をされており、当方、有志の方々(右上写真)と参加しました。会場では、社交ダンスのスペースが広く設けられて、多くの参加者がラテン音楽を楽しんでおられました。

◆マーティン・フレッドマン(Martin Fredman)氏の来訪



フレッドマンさんは、現在、米国コロラドバレエ団指導者で、欧州・アジア各地のバレエ団の指導にもあたっておられます。日本の若手バレリーナの指導を過去 30 年間行い、日本グランプリ・国際バレエコンクールの創設者です。ここ 10 数年、同

コンクールは、毎年 8 月に日本各地で開かれており、最近は、毎回600名以上、10 才から 20 才までの男女が参加し、10数名の審査員は全て各国の著名なバレエ関係者が行っていると同いました。日本人バレリーナの素晴らしさは、折り紙付きであり、レベルが極めて高い理由は、規律正しく、熱心に練習をしていることである、と明確に述べられました。

日本には、過去 96 回ほど訪問指導を行っており、南は沖縄から北は北海道北見市まで70都市でバレエ指導を行ったことがあること、最近では、日本側バレエ・団体の負担軽減を考え、往復航空賃は自前負担で訪日していますとお話でした。今後、グアテマラへ日本の若くて優秀なバレリーナを呼べないか検討をされているとお話もありました。当方からは、前任地のフロリダ

では、大学卒業間もない米国青年多数を英語教師プログラムにより、毎年日本に送り込んでいたこと、当国では、優秀なグアテマラの若者4-5名を、毎年、我が国文科省スカラシップにより日本に送り込んでいる旨お話を申し上げたところ、フレッドマンさんから大変に素晴らしいとの賛辞の声がありました。同氏は、日本での長年の活動功績に対して叙勲されておられます。

◆当国ホンダ販売ディーラー会長等との懇談



今月下旬、当国ホンダのバイク及び自動車販売会社のトップの方々(左写真の右側3名の方)をお招きして、当国市場に関するお話を伺いました。お三方はいずれも訪日したことがあり、大の日本好きと伺いました。また、当国では、中古車の輸入についての規制がないこと、排ガスや自動車走行安全性を検査・規制することもされていない現状があり、これまで改善について働きかけをしているが、当国関係機関の対応が遅れているとのことでした。

◆エスコベド前在京大使の来訪



11月末、当大使館事務所にエスコベド前在京大使(左下写真)が御来訪されました。今年10月に帰国される迄の6年半、在京大使としていろいろと御活躍をされて、大変に充実した在勤であったと伺いました。同大使の尽力で、グアテマラの国民的ラム酒である「サカパ」が日本でも流通するようになったそうです。当方から、離日する前に日本政府から勲章を授与されたことにお祝いを申し上げ、来年2015年には日本とグアテマラの外交80周年を祝う交流行事を当地でいろいろと準備を進めている旨状況をお話しました。

日本語ができる息子さんは、現在、キューバで医学を勉強中であること、年明けにキューバに行き、帰途、メキシコにも立ち寄り、山田在メキシコ大使(前中南米局長)にもお会いできればと思っていること、来年から、当国の大学で教鞭をとられる予定と伺いました。



◆JICA現地調査団一行の訪問

11月27日、当国での現地調査を終えたJICA人間開発部の瀧澤課長(左写真の真ん中の方)と一部団員の方が当館を訪問されました。妊産婦と子供の健康・栄養改善プロジェクト実施に向けての現地調査のため当国を訪問され、対象地域の都市を回ってこられたと伺いました。この新プロジェクトは、現在、技術協力として実施中の

母子健康プロジェクトの後継プロジェクトとも伺っており、当国の深刻な栄養不足状態にある地域での取組は大変に注目されると思います。瀧澤団長からは、プロジェクトの持続的な実施の上で重要となる意欲ある人材が現場に多くおられることから、現地の高い期待に応えられるようにしたいとお話を伺いました。当方から、今後、目標・成果を、わかりやすい形で示すことが可能となるよう関連指標の整備や我が国が世銀を使って実施が見込まれる当国での栄養改善事業との連携可能性などへの御配慮もお願いしました。

◆全国こども癌病院へのかすみがせき婦人会からの寄付活動



10月初めに当国を公式訪問された秋篠宮妃殿下が御訪問されたこともある全国こども癌病院へ「かすみがせき婦人会」からの御寄附を今回頂くことができました。同病院については、NGO団体が経営しており、特に地方の貧困層家庭の小児がん患者を対象に無料で入院治療を行っており、子供患者のために病院内は明るく、清潔をモットーに運営されています。当国政府からの一

部支援はあるものの、運営資金の大きな部分が寄付活動で賄われていますとのディオス理事長(写真の右側の方)のお話でした。ここでは、医師も含めボランティア活動をされる方がたくさんおられ、今回の活動報告で御紹介をしておりますが、小児がん患者の子供達への絵の指導をされているラケル墨絵画家もそのお一人です。

(了)